



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月14日

上場会社名 株式会社カイテクノロジー 上場取引所 東
コード番号 5581 URL https://chitech.co.jp/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)勝屋 嘉恭
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)田熊 眞司 (TEL)03(6273)0408
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日~2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	3,088	—	89	—	104	—	60	—
2024年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 60百万円(—) 2024年8月期第3四半期 ー百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	14.51	—
2024年8月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年8月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は売買実績がなく期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	2,219	666	30.0
2024年8月期	2,326	612	26.3

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 666百万円 2024年8月期 612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,442	—	52	—	61	—	39	—	9.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年8月期においては、貸借対照表のみを連結しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期3Q	4,200,000株	2024年8月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	—株	2024年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期3Q	4,200,000株	2024年8月期3Q	4,200,000株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績及び雇用情勢、物価高に対応する賃上げ等に伴い、緩やかな回復の動きが見られました。

しかしながら、ウクライナ戦争やイスラエルのガザ侵攻およびイラン攻撃をはじめとする国際的緊張に加え、米国の政策動向や世界的な物価の上昇、海外における政治の不安定要因の増大等により、日本経済の見通しは不透明となっております。

総務省統計局の「サービス産業動態統計調査2025年4月分速報」によると、情報通信業の売上高は5,882,112百万円(前年同月比7.4%増で37か月連続の増加)で、順調に推移しております。

企業や行政などにおけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)領域への投資は引き続き積極的であり、当社グループはこの潮流を成長の機会と捉え、「プラスαで快適(カイテク)な明日へ」というコーポレートミッションを掲げ、「利益向上」、「人材開発」、「市場競争力」の3つの経営課題に対し、「社員採用強化」、「教育環境整備」、「業務高度化」の3つを重点施策として事業を推進しております。

「社員採用強化」については、新規大学卒、第二新卒、若手即戦力の採用に注力し、中期的にバランスのとれた社員年齢構成の形成を図るとともに、外国籍技術者、女性活躍推進をはじめとするダイバーシティ採用を積極的に取り入れていく計画であり、2025年4月には32人の新入社員が入社しております。

「教育環境整備」については、2024年8月に、社内教育のための組織としてカイテクラボ&教育センター(通称CLC)を設置し、定期的なセミナーの開催やハンズオンラボを実施しております。

「業務高度化」については、ITアーキテクト、ITコンサルタントの業務を中心に育成・拡大を図るとともに、受託開発サービスにおいてはSI業務の対応可能領域の拡張と体制整備を進める計画です。

パッケージ販売サービスにおける「業務高度化」についても、食(FoodTech)と健康(HealthTech)のDX化を積極的に推進し、AIなどの先端技術を採用することで、お客様の一層の利便性や生産性向上を図っていきます。

このような状況下において、当社グループの当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高3,088,625千円、営業利益89,864千円、経常利益104,724千円、親会社株主に帰属する四半期純利益60,960千円となりました。

当社グループはIT関連サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりませんがサービス別の概況は、次のとおりであります。

システム開発サービス(SES・人材派遣)においては、案件獲得が順調に進んだことにより、売上高2,060,715千円となりました。

受託開発サービスにおいては、受託案件のシステム開発が概ね計画通り進捗したことから、売上高は599,265千円となりました。

パッケージ販売サービスにおいては、Web版導入に加え、サポートが終了するWindows10版のWindows11版への更新需要の影響も売上を押し上げたことから、売上高は428,644千円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,720,270千円となり、前連結会計年度末に比べ39,729千円減少いたしました。これは主に仕掛品が37,953千円、契約資産が13,568千円、現金及び預金が13,068千円増加し、売掛金が81,875千円減少したためであります。また、当第3四半期連結会計期間末における固定資産は499,072千円となり、前連結会計年度末に比べ67,834千円減少いたしました。これは主にのれんが20,538千円、繰延税金資産が29,416千円減少したためであります。

この結果、総資産は2,219,343千円となり、前連結会計年度末に比べ107,563千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は873,915千円となり、前連結会計年度末に比べ65,955千円増加いたしました。これは主に契約負債が36,336千円、賞与引当金が51,387千円増加し、1年以内返済長期借入金が30,017千円減少したためであります。また、当第3四半期連結会計期間末における固定負債は678,704千円となり、前連結会計年度末に比べ228,143千円減少いたしました。これは主に社債が150,000千円、長期借入金が89,802千円減少し、繰延税金負債が13,788千円増加したためであります。

この結果、負債合計は1,552,619千円となり、前連結会計年度末に比べ162,188千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は666,723千円となり、前連結会計年度末に比べ54,624千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が60,960千円増加した一方、配当の支払いにより6,300千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は30.0%(前連結会計年度末は26.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月15日に公表いたしました「2024年8月期決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。なお、本資料に記載されている連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,274	1,192,342
受取手形	132	802
売掛金	461,566	379,690
契約資産	29,613	43,182
商品及び製品	15,245	12,618
仕掛品	14,659	52,613
前渡金	19,976	5,215
前払費用	27,810	29,821
その他	12,146	5,421
貸倒引当金	△425	△1,436
流動資産合計	1,760,000	1,720,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,243	93,243
減価償却累計額	△34,820	△41,793
建物及び構築物(純額)	58,422	51,450
工具、器具及び備品	31,764	33,659
減価償却累計額	△19,363	△22,038
工具、器具及び備品(純額)	12,400	11,621
有形固定資産合計	70,823	63,071
無形固定資産		
のれん	191,692	171,154
ソフトウェア	16,532	13,264
顧客関連資産	148,000	141,062
その他	973	973
無形固定資産合計	357,198	326,455
投資その他の資産		
繰延税金資産	61,568	32,152
その他	77,315	77,393
投資その他の資産合計	138,884	109,545
固定資産合計	566,906	499,072
資産合計	2,326,906	2,219,343

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,363	126,938
契約負債	83,763	120,099
1年以内償還予定の社債	153,000	160,000
1年以内返済予定の長期借入金	149,753	119,736
未払金	36,454	40,886
未払費用	84,557	82,444
未払法人税等	515	453
未払消費税等	43,789	43,093
預り金	40,540	31,525
賞与引当金	96,702	148,090
受注損失引当金	1,521	646
流動負債合計	807,960	873,915
固定負債		
社債	356,000	206,000
長期借入金	439,828	350,026
退職給付に係る負債	30,832	32,777
資産除去債務	50,646	50,660
繰延税金負債	9,520	23,308
その他	20,021	15,932
固定負債合計	906,848	678,704
負債合計	1,714,808	1,552,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,200	28,200
資本剰余金	132,772	132,772
利益剰余金	451,125	505,786
株主資本合計	612,098	666,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△35
その他の包括利益累計額合計	—	△35
純資産合計	612,098	666,723
負債純資産合計	2,326,906	2,219,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
売上高	3,088,625
売上原価	2,192,959
売上総利益	895,665
販売費及び一般管理費	805,801
営業利益	89,864
営業外収益	
受取利息	717
受取配当金	14
助成金収入	18,197
雑収入	3,969
営業外収益合計	22,898
営業外費用	
支払利息	5,749
社債利息	2,289
営業外費用合計	8,039
経常利益	104,724
税金等調整前四半期純利益	104,724
法人税、住民税及び事業税	539
法人税等調整額	43,224
法人税等合計	43,763
四半期純利益	60,960
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,960

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2024年9月1日
至 2025年5月31日)

四半期純利益	60,960
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△35
その他の包括利益合計	△35
四半期包括利益	60,924
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	60,924

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準という。))等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは単一セグメントであり、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	13,344千円
のれんの償却額	20,538千円
顧客関連資産の償却額	6,937千円